

小節	練習曲と留意点	備考
琵琶湖周航の歌		
全般	自分なりに強弱の設定に差をつけて。最初を頑張りすぎないように	全
4～5 小節	“われーは・・・”は“れ(ソ)”を意識して“わ(レ)”の音をシッカリと	全
15～16 小節	cresc.を意識して 17 小節の f につないで	全
19～20 小節	“いーざさーらばー”の“ざ”と“さ”の Z 子音、S 子音をシッカリ	全
22～23 小節	“すーなーしーろきー”の“なー”は口をタテ長に開けて	Br
26～28 小節	“おーとめーごはー”はことばをハッキリと。特に“お”を強調して	全
31～32 小節	cresc.をシッカリと、33 小節の f につないで	全
35～36 小節	“なーくとーかやー”は途切れず一気に(ソブレスで)	全
58～60 小節	58 小節から rit.して“なーがはーま (かー)”までは 8 分音符を 1 拍に数えて。最後の“かー”で元の速さで (指揮に合わせて)	全
勇気のカタチ		
全般	低音の 8 分音符のリズムが遅れ気味。直前の音を少し早めに切り上げて 3 拍目の後拍に合わせて (3 拍目の後拍が重要!) 9 小節、13 小節、17 小節、21 小節など (他にも多出)	全
21～25 小節	“いますぎて・・・そのものですー”のフレーズのことばを大事に	T2・Br・Bs
32 小節	“おーわーりますね”の“おーわー”はアクセントではなくテノで	全
43～50 小節	T1 のワリガートは mp だがもう少し出して (mf ぐらいに) 110～118 小節も同様に	T1
103～105 小節	“ゆうきをくれたー”の“たー”は息を抜いて。ダメ押しは無し!	Br・Bs
113～124 小節	リズムのタテの線 (4 拍目のウラ拍) を合わせて。特に 119 と 121 小節の“ゆうき・・・”の“ゆ”は重要	全
君は今でも		
全般	強弱記号に注意。頻繁に出てくる cresc.は次の decresc.まで思い切って膨らませて	全
海、その愛		
全般	① 4 拍目のウラ拍が低音で出しにくい、特に 16 分音符のことばの発音をシッカリと ②常に直線的に (ホルタメはなし!)	全
47 小節	“あずけーようー”の“けーよ”がホルタメ気味なので注意!	T1
88～89 小節	88 小節で rit.するが 89 小節はフェルマタなしとして最後まで音量を保って	全
無縁坂		
全般	cresc. と decresc.の時間比率に注意! decresc.が急に音量がなくなる傾向 (ユックリ decresc.するように)	全
31～33 小節	30 小節の f から p への音量変化を意識して	全
53～56 小節	cresc. (T2 は 53 から、Br・Bs は 55 小節からの) を盛り上げて	T2・Br・Bs
74～76 小節	73 小節の f からの p p へは声を潜めて。テンポもユックリに	全
My Way		
全般	①m p で始まり→20 小節～m f →36 小節～ f (piu f)→82 小節～ f f (最後まで)へと音量が次第に大きくなる ②ことば(フレーズ)が途切れないように (例: 28～32 小節)	全
79～80 小節	“・・・まーまにー”の“にー(2 拍)”の後 4 声部一斉に大きくブレス	全